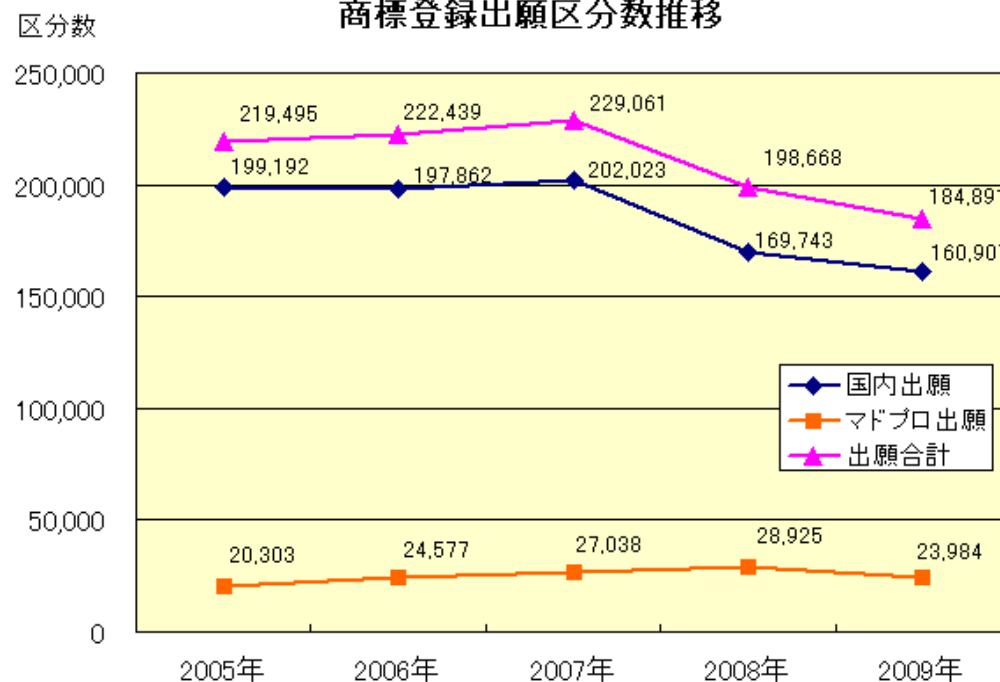


商標行政を巡る最近の動向について

平成22年3月
特 許 庁

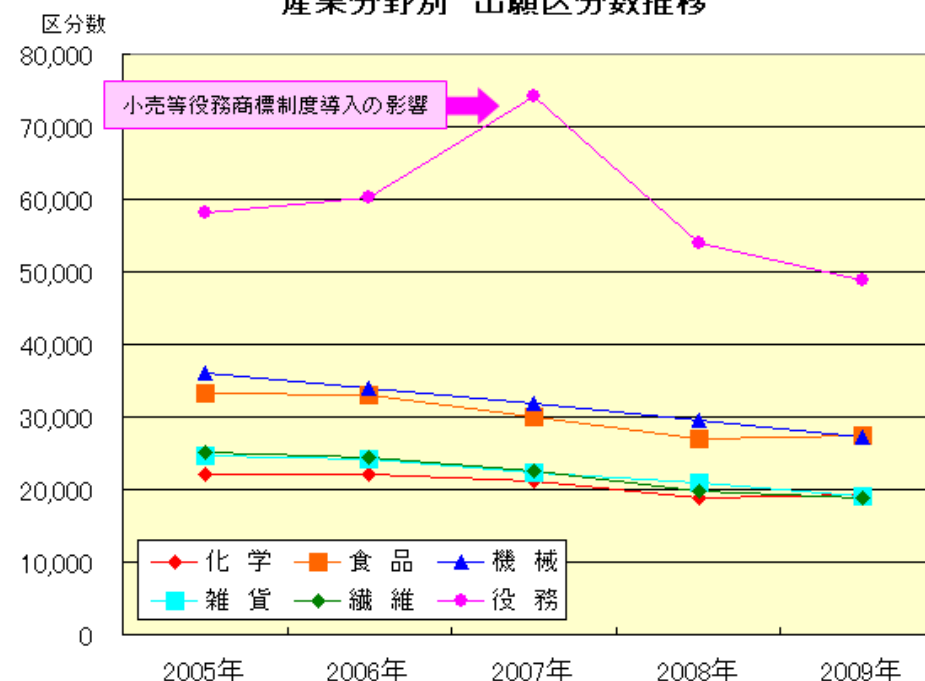
1. 商標出願動向

商標登録出願区分数推移



注) 2009年は暫定値。

産業分野別 出願区分数推移



注) 2009年は暫定値。

- 2009年の出願区分数は、対前年比－7%（国内－5.2%、マドプロ－17.1%）。
- マドリッド協定議定書を通じた国際商標登録出願については、2000年の加盟以来初めての出願減。
- なお、審査処理については、平成21年度の実施庁目標（一次審査処理210,500区分以上、FA期間6.0月以内）の達成に向け順調に推移している。

2. 地域団体商標制度の現状①

- 地域ブランドをより適切に保護することにより、信用力の維持による競争力の強化と地域経済の活性化を支援することを目的にした制度(2006年4月1日施行)。
- 制度の普及・周知活動:2009年3月までに登録査定された地域団体商標425件及び地域団体商標出願・活用戦略集を収載した「地域団体商標2009」を作成。
- 農水省との連携:知的財産分野における連携を有機的に推進するため、経済産業省と農林水産省は「知的財産連携推進連絡会議」を設置。地域における知的財産の創造、保護及び活用を更に促すため、密接かつ有機的に連携をとりつつ、各種施策を積極的に展開。



登録例「輪島塗」

権利者: 輪島漆器商工業協同組合



登録例「石垣牛」

権利者: 沖縄県農業協同組合



産品別出願内訳一覧表 (2010.2.28 現在)

農水産一次産品	加工食品	菓 子	麵 類
438	109	31	36
酒 類	工業製品	温 泉	その他
18	233	45	19
合計: 929件			

産品別登録内訳一覧表 (2010.2.28 現在)

農水産一次産品	加工食品	菓 子	麵 類
155	47	9	7
酒 類	工業製品	温 泉	その他
11	181	34	4
合計: 448件			



2. 地域団体商標制度の現状②

2010年2月28日までに登録査定された商標(448件)

海外

【イタリア国】
PROSCIUTTO DI PARMA

【カナダ国】
カナダボーク

九州

【福岡県】
博多人形 博多織 小石原焼 合馬たけのこ
上野焼 八女提灯 八女茶 福岡の八女茶
八女福島仏壇 博多なす 久留米かすり
久留米餅 原鶴温泉

【佐賀県】
神埼そうめん 佐賀のり 伊万里梨
佐賀産牛 小城羊羹 うれしの茶 唐津焼

【長崎県】
長崎カステラ 五島うどん 五島手延うどん
九十九島かき

【熊本】
球磨焼酎 黒川温泉 阿蘇たかな漬
熊本名産からし蓮根 天草黒牛 小国杉
くまもと畳表

【大分県】
関あじ 関さば 大分麦焼酎 大分むぎ焼酎
豊後別府湾ちりめん 豊後牛 日田梨

【宮崎県】
宮崎牛 宮崎ハーブ牛 宮崎の本格焼酎
北浦灘アジ

【鹿児島県】
かごしま知覧茶 知覧茶 本場奄美大島油
本場大島油 薩摩焼 川辺仏壇 知覧紅
かけろまき餅 鹿児島黒牛 奄美黒糖焼酎
桜島小みかん

沖縄

【沖縄県】
石垣の塩 沖縄そば
首里織 琉球びんがた
琉球泡盛 本場久米島油
沖縄黒糖 八重山かまぼこ
石垣牛 壺屋焼 宮古上布
琉球かすり 琉球餅
沖縄赤瓦 読谷山花織

中国

【鳥取県】
三朝温泉 東伯和牛 東伯牛
因州和紙

【島根県】
石州瓦 しまね和牛 玉造温泉
十六島紫菜

【岡山県】
岡山白桃 千屋牛 湯郷温泉
湯原温泉 備前焼

【広島県】
福山琴 広島みかん 広島はっさく
広島酒 府中家具 広島かき
高根みかん 広島レモン 広島針
びんご畳表 三次ピアノ

【山口県】
下関うに 北浦うに 長門ゆずき
厚保くり 下関ふく 長門湯本温泉

北陸

【富山県】
入善ジャンボ西瓜 黒部米 高岡仏具
高岡銅器 加積りんご
富山名産昆布巻かまぼこ

【石川県】
金沢仏壇 七尾仏壇 加賀みそ 山代温泉
和倉温泉 大野醤油 加賀友禅 山中温泉
粟津温泉 美川仏壇 片山津温泉
牛首細金沢箔 九谷焼 輪島塗 中島菜
能州細 田鶴浜建具 加賀時絵 小松瓦
加賀野菜 加賀太きゅうり 加賀れんこん
能登牛 能登大納言

【福井県】
越前漆器 越前竹人形 越前瓦 若狭かれい
若狭塗箸 越前がに 若狭ぐじ 若狭ぶぐ
越前打刃物 越前織 越前和紙

東北

【青森県】
たっこにんにく 嶺きみ 大間まぐろ

【秋田県】
秋田由利牛 比内地鶏 秋田諸越 白神山うど
川連漆器

【山形県】
平田赤ねぎ 刈屋梨 米沢織 米沢牛
山形佛壇 山形おきたま産デラウエア

【岩手県】
いわて牛 いわて短角和牛 南部鉄器
江刺りんご 真崎わかめ

【宮城県】
仙台味噌 仙台みそ 仙台牛 仙台黒毛和牛

【福島県】
土湯温泉 南郷トマト 会津みそ 大堀相馬焼

北海道

【北海道】
十勝川西長いも 鶴川ししゃも 豊浦いちご
はほまい昆布しょうゆ 大正メークイン
大正長いも 大正だいこん 苫小牧産ほっき貝
幌加内そば 虎杖浜たらこ ぼべつメロン
十勝川温泉

関東・甲信越

【茨城県】
本場結城紬 笠間焼

【群馬県】
高崎だるま 上州牛 伊香保温泉 草津温泉 十石みそ 桐生織 群馬の地酒
端高原キャベツ

【埼玉県】
岩槻人形 草加せんべい 武州正藍染 西川材

【千葉県】
房州びわ 八街産落花生 市川のなし 市川の梨 富里スイカ 矢切ねぎ
小湊温泉

【東京都】
福城の梨 江戸甘味噌 江戸押絵羽子板 江戸甲冑江戶衣装着人形
江戸指物 江戸木目込人形 江戸木版画 江戸切子 江戸からかみ 東京銀器
東京染小紋 江戸更紗 東京無地染 江戸小紋

【神奈川県】
小田原蒲鉾 小田原かまぼこ 松輪サバ 湯河原温泉 足柄茶 横濱中華街
小田原ひもの 鎌倉彫

【新潟県】
小千谷縮 小千谷紬 新潟清酒 安田瓦 新潟茶豆 越後上布 加茂桐草蓑
村上木彫堆朱

【山梨県】
やばたいも 甲州手彫印章 南部の木

【長野県】
市田柿 信州鎌 蓼科温泉 飯山仏壇 木曾漆器 佐久鯉

東海

【岐阜県】
岐阜提灯 飛騨一位一刀彫 下呂温泉 飛騨牛乳 山岡細寒天 美濃焼
飛騨ヨーグルト 飛騨高原牛乳 飛騨春慶 飛騨アイスクリーム 飛騨牛
郡上鮎 飛騨のさるぼぼ みずなみ焼 飛騨の家具 飛騨・高山の家具
美濃白川茶 関の刃物 飛騨の酒 長良川温泉 美濃和紙 飛騨ほうろくそう
飛騨トマト 東濃桜

【静岡県】
駿河湾桜えび 由比桜えび 焼津鯉節 丹那牛乳 三ヶ日みかん 川根茶
静岡茶 駿河漆器 沼津ひもの 掛川茶 伊東温泉 伊豆長岡温泉

【愛知県】
三州瓦 常滑焼 有松鳴海絞 三河木綿 豊橋筆 名古屋仏壇 一色産うなぎ
蒲郡みかん 三河仏壇 西尾の抹茶 祖父江ざんなん 尾張七宝

【三重県】
松阪牛 松阪肉 大内山牛乳 伊勢茶 伊勢たくあん 伊勢ひじき 伊賀くみひも
伊勢うどん みえ豚 伊勢赤どり 四日市萬古茶 伊勢型紙

近畿

【滋賀県】
雄琴温泉 近江牛 琵琶湖産鮎 信楽焼 近江の麻 近江ちぢみ

【京都府】
京あられ 京おかき 京仏壇 京人形 間人ガニ 舞鶴かまぼこ 京石工芸品 鴨川納涼床 京つけもの 京漬物
京都名産すき 京都名産千枚漬 北山丸太 京雛 京印章 京仏具 京くみひも 京黒紋付染 京房ひも 京甲冑
京仕立 京表具 京小紋 京友禅 西陣川搦本綴織 西陣御召 西陣金襴 京都の子紋 京扇子 京うちわ 京味噌
京念珠 宇治茶 京鈴 京せんべい 京都肉 京石塔 京都米 京の伝統野菜 京とうふ 京たんこ製 京菓子 読京染
湯の花温泉 京焼・清水焼 京たたみ 北山杉 京の色紙短冊和本帖 京竹工芸 京漆器 京象嵌 京陶人形
万願寺甘とう 京和装小物 京七宝 京染 丹後とり貝

【大阪府】
大阪欄間 和泉木綿 泉州タオル 泉州水なす 大阪泉州桐草蓑 大阪仏壇 堺刃物 堺打刃物

【兵庫県】
豊岡靴 灘の酒 淡路瓦 豊岡紀柳細工 城崎温泉 龍野淡口醤油 明石鯛 加西ゴールデンベリーA 播州毛鉤
三田牛 三田肉 須磨海苔 神戸ビーフ 神戸肉 神戸牛 播州そば 但馬牛 但馬ビーフ 淡路ビーフ 有馬温泉
播州織 三木金物 東条産山田錦

【奈良県】
高山茶釜 吉野材 吉野本葛 吉野葛 大和肉鶏 吉野杉 吉野桜 吉野割箸 吉野杉箸 平群の小菊

【和歌山県】
紀州うすい しもつみかん 有田みかん 和歌山ラーメン 紀州備長炭 紀州草蓑 紀州みなべの高南梅
すさみケンケン鯉 紀州梅干 南紀白灰温泉

四国

【徳島県】
渭東ねぎ なんと金時 徳島唐木仏壇
鳴門らっきょ 阿波しじら織 阿波山田錦

【香川県】
庵治石 ひけた餅

【高知県】
土佐打刃物 四万十川の青のり
四万十川の青さのり 徳谷トマト

【愛媛県】
真穴みかん 西宇和みかん 菊間瓦
西条の七草 今治タオル 道後温泉
宇和島じゃこ天 戸島ぶり



3. 国際関係の動き① 商標三極会合

商標三極会合

- 商標登録制度及びその運用について、日本(JPO)・米国(USPTO)・欧州(OHIM)の三庁が、意見交換を行い、制度及び運用の改善につなげることを目的として、2001年からほぼ毎年1回開催。2007年にJPOホストで開催された第6回会合より、中国商標局(CTMO)がオブザーバーとして参加。
- 2009年12月9日～11日に、第8回商標三極会合を、OHIMで開催。
 - ◆ 三極のみの会合では、①他の知財庁及びユーザーとの関係、②共通統計指標、③優先権書類の電子的交換、④三極が相互に受け入れられる商品・役務表示のリストの将来の方向性(世界知的所有権機関(WIPO)オブザーバー参加)、⑤意匠等について意見交換を実施。
 - ◆ 中国商標局を含めた4庁の会合では、①過去1年間の進展、②審査処理と生産性、③審査の質の管理、④IT施策等について意見交換を実施。
 - ◆ WIPO及び韓国特許庁(KIPO)の、次回会合へのオブザーバー参加が合意された。
 - ◆ 第9回会合より、ホスト国の主催によりユーザー会合を開催することが合意された。
- 2010年12月に、第9回商標三極会合が、JPOホストにより、東京で開催される予定。

3. 国際関係の動き① 商標三極会合

第8回商標三極会合・共同声明(要約)

商標

- パートナーは、以下のミッションステートメントを採択することについて合意する。
商標手続きの実務、プログラム、調和を目的とするプロジェクト及び改善に関する情報交換を通して、三極はメンバー間の協力と協調の促進、及びさらなるユーザーフレンドリーへの貢献の促進、そして、可能であれば、商標制度の相互運用の促進について努力する。
- MOC(三庁リスト)の第三国への拡大をパートナーは支持する。しかし、キャパシティ及び作業量についてどのように対処するかという観点から、さらなる議論の必要性について合意する。
- パートナーは、主要プロジェクトの情報共有の有用性について合意する。
- パートナーは、JPOの分析結果により指摘されたような優先権書類の発行の必要性・不要性に関して、ユーザーニーズを反映させることに合意する。2010年3月末までに、OHIM及びUSPTOは、意見をJPOに提出する。
- パートナーは、共通統計指標の有用性について合意し、共通統計指標の情報共有を継続する決定に合意する。
- パートナーは、三極の条件付きでの拡大を検討することに合意する。三極は、次回の三極会合において一またはいくつかのセッションについては、オブザーバーを参加させずに開催することに合意する。
- パートナーは、議長は1年交代、代表団はそれぞれの費用を負担すること、及び、言語の数はメンバーもしくはオブザーバーが承認される前に制定することに合意する。
- パートナーは、次回会合での常任オブザーバーとしてCTMOを招待することに合意する。
- パートナーは、共通事項の意見交換のため、特に商標分類に関して、WIPOへ継続的に招待状を送付することについて合意する。
- 商標三極におけるKIPOの参加要請に関しては、パートナーはオブザーバーとしてKIPOへ招待状を送付することに合意する。この合意にしたがって、JPOがKIPOに連絡する。
- パートナーは、次回会合から、新規にユーザーとの会合を別会合として試行することについて合意する。
- パートナーは、SAIC(国家工商行政管理総局)と協力し、2010年に中国でセミナーを開催することに合意する。

意匠

- パートナーは、三極の枠組み内における意匠セッションの有用性を表明し、会合の継続を希望することを表明する。

3. 国際関係の動き② WIPOにおける議論

マドリッド協定議定書

- 加盟国数: 81カ国(2010年2月現在)
- 2008年5月に開催された第5回作業部会において、保護認容声明の送付を指定国に義務付ける内容の規則改正案を採択、同年9月のマドリッド同盟総会で承認され、2009年9月1日に発効した。
- 2009年7月に開催された第7回作業部会では、出願言語の追加に関する調査研究及びスイスから提案された「国際登録の分割」に関する調査研究について検討された。
- 2010年初夏に、第8回作業部会が開催される予定。

ニース協定

- 加盟国数: 83カ国、国際分類採用国数: 約160カ国(2010年2月現在)
- 国際分類は、現在は第9版が発効中(2007年1月1日～)
- 準備作業部会では、2012年の第10版発効に向け改訂作業中。
- アドホック作業部会では、①電子フォーラムの開設及び、②専門家委員会の開催を年1回とし、「国際分類の変更」を毎年発効とする、などのニース国際分類の将来構想、加えて、専門家委員会の手続規則の改正案等が検討された。
- 2010年11月に、第21会期専門家委員会が開催される予定。

商標・意匠・地理的表示の法律に関する常設委員会(SCT)

- 2009年6月に開催された第21回会合で、①あらゆるタイプの商標に関する拒絶の理由、②証明商標及び団体商標の登録に関する技術的及び手続的側面、③パリ条約第6条の3(国の紋章等の保護)、④意匠法及び実務における収束可能な範囲についての議論が行われた。
- 2009年11月に開催された第22回会合では、①～④に加え、⑤意匠及び商標に関する優先権書類に関するデジタルアクセスサービス、⑥コンセント制度に関する質問票回答についての議論が行われた。
- 2010年4月に、第23回会合が開催される予定。



3. 国際関係の動き③ 日中・日韓における交流・協力

日中間の交流・協力

- 2009年、知財分野における日中双方の交流及び協力の強化を図ることを目的として、日中政府間で二つの覚書(MOU)が合意された。
 - (1) 経済産業省と中華人民共和国商務部との知的財産権保護に関する交流及び協力に関する覚書(2009年6月7日)
 - (2) 経済産業省及び中華人民共和国国家工商行政管理総局の知的財産保護の協力に関する覚書(2009年8月24日)
- 日中知的財産権ワーキンググループ
2009年11月19日～20日に、上記(1)の覚書に基づき、第1回会合が東京で開催され、商標関連では、中国側の要請に応じて、日本の商標法における地理的表示保護の紹介が行われた。

日韓間の交流・協力

- 日韓特許庁長官会合
2009年12月18日に、第21回会合が韓国・大田で開催され、日韓各国において登録された地域団体商標・地理的表示団体標章等の目録の交換を行い、商標審査の参考情報として活用することが合意された。
- 日韓商標専門家会合
2010年4月に、第2回会合が韓国・大田で開催される予定。



3. 国際関係の動き④ 商標ハイレベルフォーラム

商標ハイレベルフォーラム

- 各国政府の商標制度担当の幹部が一堂に会し、商標担当官庁が直面する課題について、プレゼンテーション、情報交換、意見交換等を行う会合。
 - ー 第1回会合（2008年3月）ホスト：オーストラリア知財庁（オーストラリア・シドニー）
 - ー 第2回会合（2009年3月）ホスト：OHIM（ベルギー・ブリュッセル）
- 2010年7月～9月に、第3回会合が、シンガポール知財庁ホストにより、シンガポールで開催される予定。